

高市首相

米いいなり大軍拡

日米首脳会談(10月28日)
で高市首相は、トランプ米政権が国内総生産(GDP)比3.5%の水準への軍事費増額を日本に要求しているのに対し、「防衛力強化と防衛予算増額に取り組む」と表明しました。

田村氏は、首相が会談に先立つ所信表明で、自民党が今夏の参院選挙で公約に掲げてさえいなかったGDP比2%への軍事費増額を2年前倒しし、今年度中に達成すると表明したと批判。「暮らしに関わる重



大問題をなぜ勝手に会談で持ち出し、対米公約したのか。国民不在の対米従属外交そのものだ」と厳しく指摘しました。

時代おくれの人権べっ視

排外主義
選択的夫婦別姓

田村氏は、犯罪や治安の悪化を外国人と結びつける論調について、「深刻な差別と分断を生み、いま日本に暮らす外国の人たちに不安をもたらしている」と指摘。排外主義や外国人差別は「あってはならない」と迫りました。

また、選択的夫婦別姓について

「通称使用を徹底しても、自分の名前を変えて結婚することが強制される」と指摘。「名前はアイデンティティー、人権だ」「名前を変えずに生きていく選択を」と迫り、「多様な生き方、多様な家族がそれぞれに幸せを追求できる社会へ」と訴えました。

しんぶん赤旗

日刊
(毎日配達されます)
月3,497円

日曜版
(毎週配達されます)
月990円

電子版
スタート



裏金消費税国民の審判に応えよ

高市首相と初論戦

共産党 田村委員長

日本共産党の田村智子委員長は5日、衆院本会議で代表質問に立ち、高市早苗首相と初論戦を交わしました。

田村氏は、自民党の裏金事件と消費税減税に背を向ける姿勢に国民は厳しい審判を下したと強調。裏金議員を重用するなど、問題の幕引きを図る首相を批判しました。高市氏が「給付金は実施しない」と表明したことを受け、「ならば国民が求める消費税の減税が民意に応える道だ」と迫りました。



質問する田村智子委員長。後方は高市早苗首相＝5日、衆院本会議

物価高騰から暮らし守れ

田村氏は、自民党が消費税減税に背を向け参院選で過半数割れとなり、「消費税減税を求める議員が国会の多数となった」と強調。消費税減税を直ちに実施せよと求めました。高市首相は、消費税は「安定財源」などと述べ拒否。物価高に無策のまま、国民の苦しみに向き合いませんでした。田村氏は、「この30年間で消費税が3度増税され、法人税率が7回も下げられ、富裕層への税優遇が続いている」とし、大企業と富裕層への応分の負担で財源をと提起しました。(左の面に続く)

日本共産党

近畿民報

2025年11月No2(第672号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

日本共産党